

Vol.9 読者の視点から見た電子書籍と紙の書籍

私どもは以前より「紙の書籍はなくならないが電子書籍は普及する」という考えのもと、紙の書籍と電子の共存・融合ということを提案させていただいております。

このメールマガジンでも何度か取り上げておりますが、5月に日本でもiPadが発売されて以来盛り上がっている電子書籍と、紙の書籍がどのような関係となっていくのが良いか、今回は読者の視点から考えてみたいと思います。

紙の書籍は入手しやすい

現在は紙の書籍を入手するだけでも多くの選択肢があります。

○減っているとはいえ、日本ではいたるところに書店があります

→近所に大きな書店がある人は Web で探すよりも書店の体系的な陳列のほうが欲しい情報に早く行き着くかもしれません。

○アマゾンなどのネット通販

→検索して欲しいものを見つけられれば早ければ翌日には実物を手にすることができます。

○ネットでの古本検索・通信販売

→古本流通の仕組みが整っているので、品切れ・絶版の本であっても比較的容易に入手できます（これは出版社様の直接の利益にはなりません）。

それに対して、最近では iPhone やアンドロイド端末などのスマートフォンや iPad のようなタブレット端末が徐々に普及してきているとは言え、それで読める電子書籍・雑誌のタイトル数はまだ多くはありません。電子書籍のメリットの一つとして、手軽に検索して即購入できるという点が挙げられていますが、現状ではそれを生かすきれておらず下記の2点くらいしかメリットがないのではないのでしょうか。

①紙の書籍よりもかさばらない

②価格が紙の書籍よりも安いことが多い

将来的には上記のような端末は高性能化・低価格化して普及率が高まり、書籍を電子の形で購読したいというニーズも高まってくるでしょうから、それくらいのメリットでしかもタイト

ル数が少ないとなれば読者としてはあまり魅力を感じず、出版社様にとっては機会損失が増大してしまいます。

どんな電子書籍なら欲しくなるか

では、どのような電子書籍ならば魅力を感じるでしょうか。

先日よしもとばななさんの新刊が電子書籍で紙の書籍版とほぼ同時（Apple社の審査の都合で1週間遅れ）に発売されたという報道がありました。電子書籍版では、紙の書籍に収録できなかった新聞連載時のすべてのカラー挿絵が入っていたり、発売後に著者が行う対談の内容を追加配信したりするそうです。やはりこういった、紙の書籍にはない付加価値がないと、電子書籍版を買おうという気持ちにはなかなかありません。

とは言え、すでに紙の書籍になったものを電子化してさらに上記のような付加価値を、となると手間とコストが非常にかかってしまいます。また、最初に書いた、紙の書籍の入手しやすさも合わせて考えると、出版社様にとってはこれから新しく出版される書籍をいつでも付加価値の付いた電子書籍としてリリースできる体制を整える、という方向性が良いように思われます。

DTP（組版）段階からの対応を

そのためにはDTPの時点からそれに適した形でデータをお作りいただく必要があります。

弊社で以前よりご紹介いたしておりますWeb入稿・自動組版システム「InPeria」では書籍用に組版されたデータが自動的に汎用的なXML形式で保存されますので、電子書籍のEPUB形式その他さまざまなフォーマットに対応できますし、eラーニングへの展開なども容易にできます。

弊社ではモリサワ様の変換ツールを導入し、InDesignもしくはモリサワ様のMC-B2で組版したデータをiPhoneアプリとしてApp storeにアップできる体制を準備中ですので、アプリを書籍の付加価値に、という考え方も可能になります。弊社にDTP（組版）から印刷・製本までご依頼いただければ格安でアプリを作成いたします。

データフォーマットや端末のうちどれが主流になっていくかが見えにくい現状では、出版社様にとっては方向性を定めるのが難しいのではないかと思います。弊社も日々上記のような問題意識を持って出版社様のお役に立てるよう考えておりますので、何かご参考になる話題をご提供できましたら幸に存じます。

<トピックス>

○8/31、「ダイヤモンド」や「東洋経済」のPDFを記事単位で購入できる「G-Search ミック！」サービスが始まりました。

○9/2、丸善様は中国の電子書籍最大手の北大方正集団(北京市)の日本法人である方正株式会社と、日中両国での「デジタルコンテンツの販売、市場開発及びシステムの構築等」に関して提携すると発表しました。

○経済産業省・コミック出版大手などが、11月12日～14日に「電子書籍・コミックサミット in 秋葉原」を開催します。

○Apple社は新聞社向けにiPhone・iPad上で「定期購読」課金の仕組みを準備中のようです

○スカイツリーは高さ470メートルを超え、かつてアジア1位の高さを誇った上海の東方明珠電視塔(467.9メートル)を抜きました。

○第17回東京国際ブックフェア(デジタルパブリッシング)7/8～7/10出展いたしました。

今年も大盛況に終わりました。詳しいことは、弊社HPトピックスをご覧ください。

○InPeriaの出張説明会を行っております。弊社担当営業へお尋ねください。

※ 弊社では、「InPeria」をASPサービスでご利用いただき、印刷物・eラーニング・様々なシステム開発受託の請負を目的としております。
XML化出版について、お気軽に担当営業にご相談ください。

<http://www.kp-print.co.jp/>

倉敷印刷

検索

倉敷印刷株式会社

東京都墨田区錦糸4-16-17

TEL:03-6658-0031 mail: systeminfo@kp-print.co.jp